別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年第8回福津市教育委員会定例会
開 催 日 時	令和4年8月25日(木) 午前 9時30分から 午前10時47分まで
開 催 場 所	福津市役所 別館1階大ホールA・B
委 員 名	(1) 出席委員 大嶋教育長、半澤委員、今村委員、 農崎委員、青木委員
所 管 課 職 員 職 氏 名	赤間教育部長、水上教育部理事、石津学校教育課長、 来仙文化財課長、谷口郷育推進課長、古賀主幹兼指導 主事、山根指導主事兼教育指導係長、石松指導主事兼 教育指導係長、鵜根総務企画係長、川上主事

議 会	議 (内 題 容)	<ul style="list-style-type: none"> ・日程第 1 開会の宣言 ・日程第 2 会議録署名委員の指名について ・日程第 3 議案第41号 福津市立幼稚園条例施行規則を改正することについて ・日程第 4 議案第42号 福津市体育施設条例施行規則を改正することについて ・日程第 5 議案第43号 福津市武道館条例施行規則を改正することについて ・日程第 6 議案第44号 福津市就学援助規則施行規程を改正することについて ・日程第 7 議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出について ・日程第 8 議案第46号 小学校建設に関する陳情について ・日程第 9 議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情について ・日程第 10 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の動静報告 ・諸報告 ・日程第 11 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて ・9月の定例教育委員会の日程について <p style="margin-left: 40px;">9月29日（木） 午前9時30分から 会場：福津市役所本館2階大会議室</p> ・日程第 12 閉会の宣言
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0人
	資料の名称	
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全文記録	
	☒ 録音テープを使用した要点記録	
	☐ 要点記録	
会議録署名委員	大嶋教育長	

	半澤委員
その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
<p>大嶋教育長：おはようございます。おそろいになられたようですので、教育委員会を開催させていただきます。 会議を始める前に配付資料の確認をさせていただきます。 鵜根係長、お願いします。</p> <p>鵜根係長：おはようございます。本日は次第以外に教育委員の皆様のお手元には2点お配りをさせていただいております。1点が、福津市図書館の経営方針。もう1点が、令和3年度福津市図書館年報。いずれも冊子のと形態となっております。</p> <p>以上です。</p> <p>大嶋教育長：はい。資料はございますでしょうか。 （「はい」と呼ぶ者あり） 本日の会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴人はなしで実施をいたします。会議録は公開します。 本日の日程第7、議案第45号「令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出について」は、市議会で審議される前の案件になりますので、非公開にすることを諮る予定です。この場でお伝えいたします。</p> <p>1 日程第1 開会の宣言</p> <p>大嶋教育長：それでは、構成委員数5名のうち、ただいまの出席数は5名で、定足数に達し委員会は成立いたしますので、令和4年第8回福津市教育委員会定例会を開会します。 直ちに会議を開きます。 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。</p> <p>2 日程第2 会議録署名委員の指名について</p> <p>大嶋教育長：日程第2、会議録署名委員の指名を行います。福津市教育委員会会議規則第16条の規定に基づき、会議録は私大嶋と半澤委員で確認、署名することとします。</p> <p>3 日程第3 議案第41号 福津市立幼稚園条例施行規則を改正することについて</p> <p>大嶋教育長：日程第3、議案第41号 福津市立幼稚園条例施行規則を改正することについてを議題とします。</p>	

事務局に提案理由の説明を求めます。

石津学校教育課長。

石津課長：議案第41号 福津市立幼稚園条例施行規則を改正することについて、御説明いたします。

この議案は、幼児の入退園等の申込みを保護者が行う際に提出する書類について、保護者の利便の向上のために、押印の廃止を行うことを目的に、福津市立幼稚園条例施行規則を改正するものでございます。

改正内容について御説明いたします。

改正の内容につきましては、様式の第1号から様式第3号までを全て改めるものでございます。

様式第1号は、入園の申込書でございます。保護者の欄に押印欄がありますが、これを廃止いたします。

それと併せて、「上記の者入園申し込みます。」という文言を「上記のとおり入園を申し込みます。」と、文言の修正をすることといたしております。

次に、様式第2号です。

こちらにつきましては、幼稚園を退園するときに提出する書類でございますが、これも同様に保護者の押印欄をなくすることといたしております。

次に、様式第3号でございます。様式第3号は、休園をさせる場合に提出させる届出書でございますが、これについても保護者の押印を廃止することといたしております。

説明は以上でございます。

大嶋教育長：本案に対する質疑を受けます。ございませんでしょうか。

無いようですので質疑を終結します。

これより議案第41号を採決します。

議案第41号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

全員賛成であります。したがって、日程第3、議案第41号 福津市立幼稚園条例施行規則を改正することについては、原案のとおり承認されました。

4 日程第4 議案第42号 福津市体育施設条例施行規則を改正することについて

大嶋教育長：日程第4、議案第42号 福津市体育施設条例施行規則を改正することについてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

谷口郷育推進課長。

谷口課長：議案第42号 福津市体育施設条例施行規則を改正することについて、御説明させていただきます。

この議案は、令和5年度以降の福津市社会体育施設の指定管理者を公募するにあたりまして、効率的な管理運営を行うため、体育センターと武道館の休館日を均一にするものでございます。

新旧対照表をご覧ください。現在、月曜日の開館日が、第2月曜日と第4月曜日になっておりますが、これを外しまして、月曜日は全て開館するということになります。

それから、それに伴いまして、休館日、第3条の第1号及び第2号を削除するということになります。

以上で説明を終わります。

大嶋教育長：本案に対する質疑を受けます。ございませんでしょうか。

今村委員：質問ですが。

大嶋教育長：今村委員、お願いします。

今村委員：体育施設の利用時間を体育センターと武道館を同じにするということですね。

谷口課長：はい。

今村委員：これ地元の方や利用者からの要望があったのでしょうか。

大嶋教育長：谷口課長。

谷口課長：利用者からの希望というよりは、教育委員会としての希望として、現在、福間小学校から体育の授業の時間の確保が難しいということで、福間の体育センターを第二体育館のような形で利用させていただきたいという要望が挙がっております。それに伴いまして、現時点で福間体育センターの利用率が非常に高いので、その時間を少しでも確保できるようにということで、月曜日を全て開けさせていただくことにさせていただいております。

以上です。

今村委員：隣接しているし、過大規模校という状況もあるのでこういう利用はよいかなと思います。

ありがとうございます。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

無いようですので質疑を終結します。

これより議案第42号を採決します。

議案第42号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

全員賛成であります。したがって、日程第4、議案第42号 福津市体育施設条例施行規則を改正することについては、原案のとおり承認されました。

5 日程第5 議案第43号 福津市武道館条例施行規則を改正することについて

大嶋教育長：日程第5、議案第43号 福津市武道館条例施行規則を改正することについてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

谷口郷育推進課長。

谷口課長：議案第43号 福津市武道館条例施行規則を改正することについて、御説明させていただきます。

この議案は、令和5年度以降の福津市社会体育施設の指定管理者を公募を行うにあたり、効率的な管理運営を行うため、体育センターと武道館の利用時間を均一にするものでございます。

新旧対照表をご覧ください。こちらは利用時間の変更です。福津市立武道館は、現在利用時間が午前9時から午後10時までとなっております。これは日曜日、祝日も含めて午後10時までとなっておりますが、体育センターは、日曜日及び祝日に関しましては、午後6時までとなっております。それで、武道館には管理人室というものがございませんので、鍵開け等は体育センターの者が武道館に行き、行っているのですが、実際日曜日、祝日の午後6時以降の利用が、現在はございませんので、これを体育センターに合わせて、日曜日、祝日に関しましては午後6時までとさせていただきたいということで、時間の変更を挙げさせていただいております。

以上です。

大嶋教育長：本案に対する質疑を受けます。ございませんでしょうか。

今村委員。

今村委員：時間のことではないのですが、現在武道館の利用状況というのはどのようになっているのでしょうか。以前は柔道や空手、合気道などをしていたと把握していますが。

大嶋教育長：谷口課長。

谷口課長：はい。福間武道館につきましては、定期的な利用団体につきましては現在4団体で、日中の利用に関しましては、火曜日に1団体と、それから金曜日に1団体。あとは、夕方に柔道の団体さんが利用されています。それから剣道の団体さんも利用されていて、稼働率としてはそこまで高くない状況になっております。

なので、日曜日、祝日の夜の利用ということも全くございませんので、影響がないものと考えております。

今村委員：わかりました。ありがとうございました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

無いようですので、質疑を終結します。

これより議案第43号を採決します。

議案第43号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

全員賛成であります。したがって、日程第5、議案第43号 福津市武道館条例施行規則を改正することについては、原案のとおり承認されました。

6 日程第6 議案第44号 福津市就学援助規則施行規程を改正することについて

大嶋教育長：日程第6、議案第44号 福津市就学援助規則施行規程を改正することについてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

石津学校教育課長。

石津課長：議案第44号 福津市就学援助規則施行規程を改正することについて、御説明をいたします。

この議案は、要保護児童生徒援助費の国庫補助金に係る補助金の交付要綱が令和4年度改正をされましたことから、本市の就学援助費についても額を改正するために、福津市就学援助規則施行規程に所要の改正を行うものでございます。

改正内容を、新旧対照表を用いて説明したいと思います。

新入学用品費のうちの小学校の分を現行の5万1,060円から、5万4,060円に増額の改定をすることといたしております。

次に、附則でございます。項目につきましては、本日から施行し、令和4年4月1日から適用することといたしております。令和4年度分の就学援助費から適用することといたしております。

新入学用品費につきましては、入学前支給、令和4年度に新入学される方については、令和3年度中の支給もできるということになっておりますので、令和3年度中に支給された方については、差額分を追加して支給するようにする附則を設けております。

説明は以上でございます。

大嶋教育長：本案に対する質疑を受けます。ございませんでしょうか。

今村委員：質問です。

大嶋教育長：今村委員、お願いします。

今村委員：これ小学校の分だけですね。小学校3,000円アップということですね。児童生徒学用品ですね。

中学校はないのでしょうか。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：こちらにつきましては、先ほど説明しましたように、要保護児童生徒援助費国庫補助金に係る国の補助要綱の額をそのまま採用しております。今回は国から、小学校の新入学用品費のみの増額ということで通知が来ておりますので、小学校のみの増加ということにしております。

今村委員：分かりました。ありがとうございます。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

無いようですので、質疑を終結します。

これより議案第44号を採決します。

議案第44号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手を願います。

(全員賛成)

全員賛成であります。したがって、日程第6、議案第44号 福津市就学援助規則施行規程を改正することについては、原案のとおり承認されました。

7 日程第7 議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出について

大嶋教育長：日程第7、議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出については、市議会で審議される前の案件になりますので、非公開とすることを発議いたします。

非公開とすることに賛成の委員は挙手を願います。

(全員賛成)

全員賛成ですので、この案件については公開しないことに決定いたします。

日程第7、議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出についてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

赤間教育部長。

赤間部長：議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出について、今月の30日に開会されます9月定例会に提出が予定されております教育予算につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、市長から意見の聴取があったことに回答をするものでございます。

補正予算の概要を該当する各課より説明をさせていただきます。

大嶋教育長：石津学校教育課長。

石津課長：それでは、まず学校教育課から補正予算の概要について御説明をいたします。

まず、学校教育課学務係の関係でございますが、小学校施設維持管理事業といたしまして、53万6,000円を計上いたしております。これにつきましては、当初予算で老朽化した机、椅子、教卓等について予算計上しておりましたが、物価の高騰によりまして必要な数が購入できなくなりましたので、その差額分を予算計上するものでございます。

それに追加しまして、津屋崎小学校で使うことにしておりますが、給食を配膳室から部屋に持ってきたりするときの動線が良なくて時間がかかっておりますので、それを改善するための配膳台を追加して購入する費用も合わせて計上をしております。

次に、中学校施設維持管理事業でございます。こちらにつきましても先ほどと同様で、金額が上昇したことに伴いまして、必要数が購入できませんので、その分の7万5,000円を増額するものでございます。

次に、幼児教育・保育無償化事業についてです。こちらにつきましましては、令和3年度に県から負担金をいただいておりますが、実績額が確定したことに伴いまして、県に返還をする必要が生じたので、その返還金相当額といたしまして、468万9,000円を計上いたしております。

次に、施設型給付事業でございます。こちら先ほどと同様ですが、令和3年度の実績額が確定したことに伴いまして、県へ返還金を返還する必要が生じたので、その返還金相当額といたしまして、1万5,000円を計上するものでございます。

次に、学校教育課保健給食係でございます。小学校給食施設管理事業といたしまして、LPガスの輸入価格等の高騰に伴いまして、ガス料金が増額改訂されましたことから、その増額分96万3,000円を補正計上するものでございます。

次に、中学校給食実施事業でございます。こちら小学校と同様に、ガス代の高騰に伴いまして、ガス代の増額分460万9,000円を補正計上しております。

次に、共同調理場管理運営事業でございます。こちらガス料金などが改訂されたことから、必要分を増額補正すること。それから、新設共同調理場が1年遅れることから、その間の提供食数の増加に対応するために、消毒保管庫を追加して設置する必要が生じたので、その必要額を合わせて443万3,000円を補正計上しております。

次に、小学校給食施設整備事業でございます。こちらにつきましましては、福間小学校につきましても新設共同調理場から給食を配送することとしておりましたが、新設共同調理場が1年遅れることから、その間対応するために回転釜や保冷库、消毒保管庫等を追加設置するため費用といたしまして、900万5,000円を増額計上いたしております。

次に、学校教育課みらい教育係でございます。小学校ICT学習環境整備事業といたしまして、児童・生徒の推計の生徒数、将来推計の増に伴う追加費用と、修繕費として予算を計上しおりましたものにつきまして修繕するよりも端末を買い換えたほうが安くなるということもありますので、その必要額とし

て、681万5,000円を計上しております。

次に、中学校につきましては、将来の生徒・教職員数の推計が減少しましたことから、その余剰額を減額補正することといたしております。463万2,000円の減額補正をすることといたしております。

学校教育課は以上でございます。

大嶋教育長：はい。それでは続きまして、郷育推進課長、お願いします。

谷口課長：まず、郷育推進課のスポーツ文化振興係の分を御説明させていただきます。先ほどの規則改正の部分にも関連しているのですが、社会体育施設の指定管理者が今年度で終了しますので、来年度公募するに当たっての申込みの受付期間として、今年度中に業者を選定しなければならないことから、当初予算ではなくて補正予算という形で挙げさせていただいております。

実際のスケジュールとしましては、9月12日から9月27日まで受付をいたしまして、最終的に指定管理者の候補者決定を11月の中旬に予定しております。その結果を踏まえて12月議会で指定管理者の指定を議決により決定しまして、協定の締結は、令和5年の3月中を予定しております。

続きまして、図書館管理係の図書館システム更新事業ですが、こちらは図書館システム、市立図書館、それから、カメラアの図書館も併せてなのですが、使用開始から現行7年が経過をしておりますシステムが、令和5年の9月末をもってこのシステムのメンテナンスの対応ができなくなるということで、このシステム開発に約半年を要するということですので、今年度中に業者を選定しないと間に合わないということが分かりましたため、補正予算で計上をさせていただいております。

以上です。

大嶋教育長：はい。それでは、本案に対する質疑を受けます。ございませんでしょうか。

今村委員：1つ質問ですが。

大嶋教育長：今村委員、お願いします。

今村委員：学校教育課みらい教育係の中学校のICTの学習環境ですが、生徒数がかなり増大していると思っていたんですが、生徒・教職員の推計値は減少しているのでしょうか。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：今回新しく購入する数を精査するとき、中学校が予算要求としては過大に推計をしてしまっていたことから、減額補正をさせていただくということにしておりますので、実際のある時点で見込んだ数が極端に減ったということではなくて、予算要求上の数が減ったということで御理解いただければと思います。

今村委員：分かりました。ありがとうございました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

青木委員：よいですか。

大嶋教育長：青木委員、お願いします。

青木委員：保健給食係のところですけど、LPガスの輸入価格の高騰に伴いということで、小学校と中学校でかなり額が違うのはどうい
うことでしょうか。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：はい。LPガスの価格については、おおむね現時点では1立方
メートル当たり35円程度、25%前後の上昇を業者の方から
お願いをされているところでございます。

ガスの使用料につきましては、使用量の部分も反映されての
金額になるんですが、中学校においては、調理のためのガスの
他、ガスを利用した空調方式を採用しておりまして、量がかなり
増えているので、検証した結果では、気温の上昇が例年より
早くなったために、中を冷やすために使うLPガスの使用量も
増加して、結果単価の部分と使用量が大幅に増加したというこ
ろも併せて、460万と多い額の予算補正ということになって
おります。

空調がもし電気の空調だどこまで上がらなかったのかなと
は考えています。

青木委員：小学校は電気の空調ということですか。

石津課長：そうです。

青木委員：分かりました。

大嶋教育長：ほかは。

半澤委員、お願いします。

半澤委員：学校教育課学務係の幼児教育・保育無償化事業のところ
で、468万円県へ返還するというんですけど、これはそもそも具
体的にどのような形で使われるようなものなのか、どうしてこ
んなにたくさん余ってしまっているのか、説明をお願いします
。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：幼児教育無償化事業につきまして、この補助金は幼児教育の無
償化が始まって、福津市が幼児教育をしてもらっている幼稚園
にその費用等を交付するわけでございますが、その費用につ
きましては、令和3年度当初予算を組んだ額に合わせて補助金を
これだけ必要なのでくださいと、およそその3分の2程度を補
助金として1回は受入れを行います。3月31日まで幼児教育
の期間はありますので、それから整理をして実績を出すと、も
う4月になってしまうので、1回もらい過ぎた分を翌年度にお
返しすることになります。予算要求額よりも実際の幼稚園に
払った額は少ないので、それに伴って補助金も少なくなるん
ですが、もうもらい過ぎた分は、翌年度にお返しするという手
順を取って、今回の468万9,000円なり、下の1万5,0
00円を返還するというようになっております。

半澤委員：分かりました。

大嶋教育長：よろしいですか。

半澤委員：はい。ありがとうございました。

大嶋教育長：今村委員。

今村委員：この補助金というのは児童数に応じてもらえるのでしょうか。

大嶋教育長：石津課長。

石津課長：幼児教育の無償化は、児童数や先生の数などさまざまな要素を加味して、各幼稚園にお支払いする額が決まるということになりますので、児童数だけというわけではないと思います。

今村委員：毎年ある程度募集の人数や職員の方の数というのが大体決まっていると思うんですが、かなりの額を返還しなければならないのですね。

石津課長：当初予算で計上しますので、足りないというわけにはいきませんので、実際必要な額よりは若干多めに予算を計上するので、そこは使わなかったのを返すということでございます。

今村委員：ありがとうございました。分かりました。

大嶋教育長：ほかはございませんでしょうか。

無いようですので、質疑を終結します。

これより議案第45号を採決します。

議案第45号は原案のとおり承認することに賛成の方は挙手願います。

(全員賛成)

全員賛成であります。したがって、日程第7、議案第45号 令和4年度福津市一般会計（教育予算）の補正予算に係る意見の申出については、原案のとおり承認されました。

非公開とする案件は以上となります。

8 日程第8 議案第46号 小学校建設に関する陳情について

大嶋教育長：日程第8、議案第46号 小学校建設に関する陳情についてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

鵜根係長、お願いします。

鵜根係長：議案第46号 小学校建設に関する陳情について、御説明をさせていただきます。令和4年8月19日に、福津市教育委員会請願処理規則第2条の規定に基づきまして陳情書が提出されました。このことに伴い、同規則第4条の規定に基づき教育委員会の採決を受ける必要があるため、同規則第3条の規定に基づき報告を行うものでございます。

8月19日に教育委員会宛に提出された陳情書を添付させていただきますので、ご覧いただければと思います。以上でございます。

大嶋教育長：少し時間を取りますので、目を通していただければと思いま

す。

(陳情書確認)

それでは、本案に対する質疑や御意見がある方はお願いいたします。ございませんでしょうか。

青木委員、お願いします。

青木委員：この陳情が議案になっているということは、これをどう扱うかということをお話し合うわけですか。

大嶋教育長：そうですね。採択するか、不採択かという議決をとります。

青木委員：採択するという事になればどうなるんですかね。

大嶋教育長：採択するという事になれば、この内容について教育委員会として検討するという事になります。

今村委員：質問よろしいですか。

大嶋教育長：今村委員。

今村委員：この陳情書は、どのような形で受け取られたのでしょうか。

鵜根係長：直接窓口を持参されましたので、事務局でお預かりをさせていただいたところでございます。

今村委員：この間の総合教育会議で、新設校の建設場所については、教育委員会としてなぜこの位置にしたかということかなり詳しく理由を述べていますよね。そのことをこの方は御存じなのでしょうか。

鵜根係長：この方自身は、以前からこの新設校の建設問題に関しては大変興味深く注視されてあった方とは私も聞いておりますので、恐らく総合教育会議の内容につきましても、ご存じなのではないかと考えております。

半澤委員：質問よろしいですか。

大嶋教育長：半澤委員、お願いします。

半澤委員：この陳情者の黒塗り部分の説明をお願いします。

鵜根係長：こちらにつきましては、氏名のほか住所と電話番号を記載した上で陳情書を提出することが、規則に規定されております。議案の上程にあたり、氏名は陳情者ということで必要ですけれども、住所と電話番号につきましては、個人情報に当たるということで、住所と電話番号のみ黒く塗らせていただいております。

半澤委員：それで、こちらは署名などを行っている団体等ではなく、個人の意見ということで認識してよろしいんですか。

鵜根係長：はい。こちらにつきましては、教育委員会としても個人の意見ということで認識をしております。

今村委員：では意見を言わなければいけないですよ。

大嶋教育長：はい。今村委員、お願いします。

今村委員：陳情理由を見ると、海に近くない場所。それからなるべく中央の場所がよいと書かれていますけれども、海に近い場所だとすると、福間小学校も津屋崎小学校も近いですよ、どちらかという、その2つの学校よりは海からは離れているとは思いま

す。市の中央部を望んでいますけども、この間の総合教育会議で、やはり西福間の児童数が増えるということ、これからも宮司近辺の児童数が増える予想があるということでそこにしたので、別に場所が中央部とか端とかではなくて、児童が通しやすい場所、安全面とかそういうようなことも含めて、現在の場所にしたので、この陳情理由に書かれてあるような場所とは違う場所になっているのではないかというのが感想です。

大嶋教育長：青木委員、お願いします。

青木委員：私も一個人の意見を聞かせていただくという形で受け取って、ただ、この内容を今後また検討するということになると、また計画を一からやり直すということになって、またさらに数年間の遅れが生じることになるので、ひとつのご意見として頂戴しておきますということでもよろしいのではないかなという気がします。

大嶋教育長：半澤委員、お願いします。

半澤委員：この方は中央公民館を小学校に造り変えたいという意見内容だとお見受けしていますけれども、まず公民館自体まだ継続して使ってほしいという利用団体の意見団体なども多々あつての公民館案は取り下げたという経緯もありますし、これまで話合ってきたことを後返って、また時間を浪費することになりかねませんので、もちろんそういう意見もあつて、検討の結果、現在案になったという流れを考えますと、この一個人の意見というのは、そういう考え方もあるよねということはあるんですけども、せっかくここまできた決定を覆すほどではないのかなと。

もちろん、現在の案は南小の過大解消なりませんけれども、それには、代わりのケアも考えてきているわけですから、市民がたくさんいる中でさまざまな意見がございましょうから、この方の意見はこれで受け取って、これまで話合ってきたことはそのまま進んで、少しでも時間がかからないこと。ただでさえ少しずつ遅れてきていますので、もうなるべくスピード感を持って進めるように持っていくことがよいのではないかと思います。

大嶋教育長：はい。農崎委員、お願いします。

農崎委員：私も皆さんと同じ考えですね。書かれていることで共感できる部分は多少ありますけど、半澤委員が言われたように、プロセスもありますので、御意見として頂戴するだけでよいのではないかと思います。

大嶋教育長：はい。それでは、福津市教育委員会請願処理規則第5条に教育委員会は、必要があると認めるときは請願等した者に対し出頭を求め、直接その趣旨を述べさせることができると規定しています。つきましては、本件の陳情者に対して、会議への出席を求めるかをお諮りします。なお、請願者の出席を求める場合

は、本件は次回の教育委員会での継続審議とさせていただきたいと思います。

いかがでしょうか。

今村委員：陳情者がお一人であれ団体であれ、この陳情というのは大事にしなければいけないと思うんですが、例えばこの陳情理由を読むと、下のほうに今の中央公民館辺りに小学校を造った場合は、津屋崎中学校、福間中学校、東中に分かれて進学する意義も大きいということが書いてありますよね。これは、今まで大事にしていたコミュニティ・スクールがちょっと崩れるという形になりますね。そういうことも含めて中学校を1つ、小学校を1つ。それで、場所も考えてしたわけですから、それをやはりもう何回も説明はしていると思うんですけどね。

半澤委員：ちょっとよいですか。

大嶋教育長：半澤委員。

半澤委員：このような陳情はこれが別に初めてではなく、例えば今までも環境団体の方とか老人会の方とか、何回も来られて直接私たちと話したいとか言う方もいらっしゃいましたが、なぜ今回に限ってその定例会にこの方をお呼びしようかという話になっているのかちょっと分からないので、ちょっとお伺いしてもよいですか。

大嶋教育長：鵜根係長。

鵜根係長：こちらに陳情書という書面をもって、教育委員会宛ということで提出がなされましたので、規則の規程に沿って手続きを進めさせていただいております。陳情書の内容、この趣旨等が正確に伝わらない場合もあるかと思いますが、そういった場合に御本人から直接趣旨を確認されたいという御意向があれば、お呼びすることができるということでございます。

今村委員：確認ですが、この方からはかつて陳情書や要望書は出なかったんですかね。

今まで何回か同じものが出たのであれば、改めて教育委員会に来ていただく必要はないし、この方の要望というのはこちらも理解しているじゃないですか。前も見たことがあるような感じがしますが、どうですかね。

青木委員：よいですか。

大嶋教育長：はい。青木委員。

青木委員：こちらの方針というのは、総合教育会議の中とかでもうオープンに出しているのだから、それを見てさらにまたこういう話がかかるということは、来られても意見が分かれるだけの話で、教育委員会としてこちらの意見になびいていく方向はもうないので、話し合いの結果こういうことになりましたという御説明をされておけばよいと思います。

大嶋教育長：それでは、陳情した者に対して出席を求めないということでもよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、もう御意見は、出尽くしたと思いますので、質疑を終結します。

これより議案第46号を採決します。

議案第46号 小学校建設に関する陳情について、この陳情を採択することに賛成の方は挙手を願います。

(全員反対)

全員反対であります。したがって、日程第8、議案第46号 小学校建設に関する陳情については不採択といたします。

9 日程第9 議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情について

大嶋教育長：それでは、日程第9、議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情についてを議題とします。

事務局に提案理由の説明を求めます。

鵜根係長、お願いします。

鵜根係長：議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情について、御説明をさせていただきます。

こちらの陳情につきましても、令和4年8月22日に、福津市教育委員会請願処理規則第2条の規定に基づきまして陳情書が提出されました。このことに伴い、同規則第4条の規定に基づき教育委員会の採決を受ける必要があるため、同規則第3条の規定に基づき報告を行うものでございます。

陳情書の内容につきましては、添付をさせていただいております。

こちらにつきましても、先ほど御説明をさせていただきましたけれども、住所と電話番号に係る部分を、黒くマスキングさせていただいている状況でございます。

内容につきましては、こちらをお読みいただければと思っております。

以上でございます。

大嶋教育長：はい。それでは、目を通していただければと思います。

(陳情書確認)

では、本案に対する質疑や御意見がありましたらお願いをいたします。

半澤委員：よろしいですか。

大嶋教育長：半澤委員、お願いします。

半澤委員：女性としての観点から読ませいただきますと、とても良い取組なんじゃないかなということを感じました。

経済的理由で生理用品を入手することが困難な児童がいるんだなということも改めて認識しましたし、そうじゃなくても、

最近ではカフェとかホテルなどの女性トイレには、籠に入れておいてあるんですね。生理用品だとか、歯磨き、うがいをするような小さなコップと口内洗浄液ですとか、そういうものと一緒においてあるところは、すごく心ある対応だなという感じがしますし、経済的に入手できない方だけでなく、やっぱりこういうのは突然始まったりすることがあって困るという状況も女性として理解できますので、そういうのが学校にあるということとはとても良いことなんじゃないかなという感想を持ちました。

以上です。

青木委員：よいですか。

大嶋教育長：青木委員、お願いします。

青木委員：現在も生理用品を置いていない理由は、予算がかかるということでしょうか。

農崎委員：多分保健室には行ったらもらえるシステムになっていますよね。

青木委員：この陳情書を読むと、その保健室にもらいに行くこと自体が恥ずかしいということなので。例えば、無償で持って帰れることができるということだったら、たくさんの数を持って帰る子たちが出てくる可能性もあると思う。

半澤委員：それは経済的理由で買えない人はそうするだろうけれども、そうしてくださいということで、あえて寄附のような感じであるという意味だと私はお見受けしたんですね。買えなくてこう困っている人がいるので、さりげなく取れるようにおいてあげてくださいという内容なのかなと感じました。

青木委員：その貧しい子たちだけが持って帰るということであれば良いと思えますが。

農崎委員：それはなかなか難しいでしょうからね。

青木委員：誰でも持って帰ることになると、多分予算が、学校によってその指導の仕方によって、この学校は月に5万円も出ていっている。この学校は1万円出ていっているというようなことになるかもしれないというか。

半澤委員：その可能性はありますよね。

青木委員：そうであれば、無償で保健室でもらえるのであれば、貰うことは何も恥ずかしいことじゃないということで、経済的に厳しい子たちには保健室に行ってもらいなさいということをご指導していったほうが良いような気がしますけど、公共のサービス、ホテルとかそういうところと学校というのはちょっと違う気がします。

まして、その利用するのが子供たちなので、まずそれをその公共的に使うものは必要以上に持って帰ったらいけないと、みんなが困るからということをお教えることが、教育的効果は何かあるような気がしますけど。

半澤委員：この問題について、他市とかではどうなんですかね。

青木委員：全国的に公立学校に生理用品は置いてあるのでしょうか。

半澤委員：そういうのをしている学校はあるんですよ。

青木委員：もしかしたらそのような学校があるからこういった陳情書が出てきている可能性はありますよね。

今村委員：以前新聞に載っていましたね。そういう教育もしている学校もあるみたいです。

青木委員が言われるように、まずは恥ずかしくないということをお教えることも大事じゃないでしょうかね。

半澤委員：でもやっぱり行けない子というのはたくさんいると思うし。

今村委員：いけない子はやっぱりいるんでしょうけどね。

半澤委員：恥ずかしいものという意識は昔から女性はあるじゃないですか。だから、そのもらいに行っている姿を男子生徒に見られるのも嫌だし、それを受け取っている姿を、例えば保健室で寝ている男子生徒がいて、その前で先生に生理用品くださいと言うのは女子中学生にとってはどれだけ恥ずかしいかということも考えなければならぬ気はします。まだ思春期の子どもにはものすごくハードルが高い場合もあるでしょうから。

農崎委員：あとは学校の先生方のお考えですよ。校長先生をはじめ保健の先生方がどう考えられるか、いろんなことが想定されるからですね。

青木委員：学校に1回投げかけるというのも一つの方法だと思いますけどね。

半澤委員：そうですね。それがよいかもわからない。

農崎委員：福津市の公共施設でそういうことをされているんですかね。

赤間部長：この市役所も庁舎もそうですけども、置いているとは聞いたことはないですね。

福津市としてどうするかというところがまだ方針として決まっていないというところがございます。

大嶋教育長：それと、この方がおっしゃっているように、健康福祉面から見れば確かに良いことではあるんですけど、もう一つの側面、やはり中学校の中のトイレということですから、教育的な側面、生徒指導の側面とかが関わってきますので、良いことだからすぐということにはちょっと難しいような気がします。

ですから、学校でもしっかりと考えてもらったりとか、これを実際にするとすると、生徒もしっかりとこのことを理解した上で置くことが必要で、いつの間にか置いてあったということでは教育になりませんので。

半澤委員：そうですね。道徳の授業の中で教えることが必要だとは思いますが。

農崎委員：そうですね。こういう社会背景があつてということですよ。

大嶋教育長：はい。だから時間をかけてしていく必要があるのではないで

しょうか。

半澤委員：それはそうですね。

青木委員：それでよいと思います。

大嶋教育長：それでは、この陳情者の方の出席を求めて委員会を開くということは現時点ではちょっと必要ないように思いますが、いかがでしょうか。

（「賛成」と呼ぶ者あり）

はい。

それでは、委員さん方の御意見が出ましたけれども、質疑はこれで終わってよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

はい。

では、議案第47号を採決したいと思います。

この議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情について、この陳情を採択することに賛成の方は挙手を願います。

今村委員：採択はしないけど、検討するということで。

大嶋教育長：はい。

（全員反対）

全員反対であります。したがって、日程第9、議案第47号 学校施設への衛生用品の設置に関する陳情については不採択といたします。

現時点では不採択で、これから検討していくということで。

（「はい」と呼ぶ者あり）

はい。

10 日程第10 報告

大嶋教育長：日程第10の報告に移ります。

教育長の動静報告をいたします。

7月29日金曜日から8月24日の水曜日まで挙げておりますので御覧いただければと思っております。

1点だけ、8月18日木曜日に福岡県市町村教育委員会教育長研修会というのが行橋市で行われました。これについては3年ぶりの開催になっております。それで、6月ぐらいまでの段階では1泊2日で、1日目が研修会。2日目が視察研修という予定でしたが、コロナの感染拡大によりまして、2日目の視察研修が中止になりまして、日帰りの研修になっております。行橋市さんも、2年越しの研修会ということで大変御苦労をされたんじゃないかなと思っています。

内容的には、非常に充実した研修会で、福岡県教育委員会の各課からのさまざまな施策の説明がございました。それともう一つはICT教育の推進についての講演がありまして、充実し

た研修を受けさせていただきました。

以上でございます。

ほか何か御質問とかありましたら、お願いいたします。

今村委員、お願いします。

今村委員：2点あるんですが、8月19日の福間中学校の生徒が表敬訪問された件の中身はどういう話ですか。

大嶋教育長：これは、個人で表敬訪問をされて、男子中学生が空手の全国大会に出場するという事で表敬訪問をしましたということでした。

今村委員：分かりました。

それと2番目は、竜王戦について進捗状況はどのような感じなのでしょうか。

大嶋教育長：竜王戦につきましては、昨日第1回の実行委員会がございました。それで、竜王戦の状況につきましては、竜王が藤井聡太竜王で、挑戦者が一昨日決まったところでございます。

それで、この竜王戦というのが、七番勝負になっておりまして、どちらかが4勝したほうが勝ちということになります。

ですから、10月初めからこの竜王戦がはじまりまして、タイトル戦を、1泊2日でやります。二日間の勝負ということになります。ですから、かなり日数がかかりまして、第5局までいけばということですが、もちろん場合によってはどちらかが4連勝した場合というのは、第5局はなくなってしまうという状況です。それで、もし第5局をするときは11月の末に宮地嶽神社でタイトル戦があります。宮地嶽の大盤解説というのがあるんですけど、前は非常に人が多くて大変だったということで、今回の大盤解説は中央公民館に予定されているみたいですね。

今村委員：ありがとうございました。

大嶋教育長：はい。

では、次にいきたいと思います。

半澤委員：よいですか。

大嶋教育長：では、半澤委員、お願いします。

半澤委員：私が福津市民生委員推薦会の委員というのを兼任しておりまして、8月5日に3年ぶりに民生委員の推薦会というのに行ってまいりました。

福津市全体で民生委員の総定数は87名なんですね。それが、前回、3年前は8人足らずの状態でした。それで、今回は14人未提出ということで、もう結局決まらないという状態ですね。だから、民生委員制度というのは出来てからもう105年たっているらしんですけども、民生委員の方でもうみんな完全無償ボランティアでされていて、年間活動費ということで、本当に交通費程度しかもらわずに結構ハードな内容のこと

をされておられますので、やはり次の方を決めるというのがすごく難しいみたいなんですよ。1回受けたら3年間で、あと働き方はもちろんボランティアなので任意ですけど、自分の地区の人はやはりきちっと見ておかないといけないという責任もありますからね。それで、現在は自治会長の方の協力が無いと、もう本当に次の方が決まらないという状況ですけど、自治会長になったばかりの人も、コネクションがなかったり、コロナで最近はお祭りとかもないじゃないですか、そういうことでこの人に頼めるというような人を見つけることが難しいという状況らしいんですよ。だから、3年に1回それが回ってくるということは分かっているから、もうその年になった自治会長が全部やるのではなくて、前々から準備をして、もっと早めに活動したらどうか何ていう意見がいろいろ出ておりました。

そういう会に行ったことを報告します。

大嶋教育長：ありがとうございます。

今村委員：民生委員さんの経費を上げてあげる必要もあるんじゃないですかね。

半澤委員：本当に、ボランティアではなくてですね。

今村委員：手当かなにかあればと思いますが。

半澤委員：そういう意見を私も言ったんですけど、手当はもう国が出すべきじゃないかみたいな話をしたんですけど、中にはただだからやる人もいるみたいな、もうお手当を頂いたらきっちりやらないといけないからそれは負担だけど、ボランティアだからさせていただくという方もいらっしゃるそうで、そこは難しいものだなと感じました。

大嶋教育長：はい。ありがとうございます。

1 1 日程第 1 1 その他

大嶋教育長：日程第 1 1、その他の事項について、事務局から説明をお願いします。

鵜根係長、お願いします。

鵜根係長：今後のスケジュールにつきまして、教育委員の皆様に関わる部分のみ御案内をさせていただきたいと思います。

まず、9月27日火曜日でございます。午前8時40分から福間南小学校への学校訪問が予定されております。

翌9月28日水曜日でございます。こちらも午前8時40分から勝浦小学校への学校訪問が予定されております。

さらに、9月29日木曜日の午前9時半から、次回の教育委員会の定例会が行われます。会場につきましては、市役所本館2階の大会議室となります。本日の場所からはまた変更となりますので、御注意いただければと思います。

以上でございます。

1 2 日程第1 2 閉会宣言

大嶋教育長：日程第1 2、以上で本日予定されていた議事日程は全て終了しましたので、これで令和4年第8回福津市教育委員会定例会を閉会します。
お疲れさまでした。